

製品名: IKK α ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21333**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:85kD;Observed MW:85kD

抗原情報

遺伝子名	CHUK CHUK;IKKA;TCF16;Inhibitor of nuclear factor kappa-B kinase subunit alpha;I-kappa-B kinase
別名	alpha;IKK-A;IKK-alpha;IkBKA;IkappaB kinase;Conserved helix-loop-helix ubiquitous kinase;I-kappa-B kinase 1;IKK1;Nuclear factor NF-kappa-B
遺伝子 ID	1147
SwissProt ID	O15111
免疫原	ヒト IKK アルファの合成ペプチド

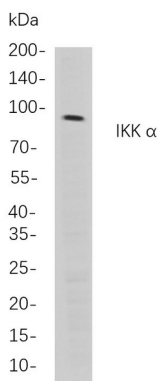
背景

細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、必須転写因子 NF- κ B 複合体の阻害因子であるサイトカイン活性化タンパク質複合体の構成要素であり、ユビキチン化経路を介して阻害因子の分解を誘導する部位をリン酸化することで、転写因子を活性化します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



IKK α Rabbit mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。